

## 第 4 回鎌倉市総合計画審議会意見一覧

no	回	基本計画	分野	施策の方針	意見要旨	意見抜粋	発言区分	意見分類
1					歳入を得る仕組みを構築するとともに、若年層の流入を喚起し、人口を増やすことによって、限られた予算等の資源の減少をできるだけ最低限にとどめる方策を計画の中に入れ込むべきである。	・主たる所得を担っているサラリーマンがだんだんと高齢化して、収入自体に勢いがなくなってくる ・どこの市町村でも、人口が増えることによって税収を上げるということになっていますから、その辺をどこかメインに挙げたほうがいい	審議会	1 基本的な考え方
2					市内の人材を活用する施策を検討するべきである。	・もっと人を活用するというか、その部分に焦点を当てる施策がもっと必要	審議会	1 基本的な考え方
3					障害のある人たち、高齢者の方々も含めて、住みやすいまちづくりのために、共生・相互理解の観点での体制づくりと具体的な取組が重要である。	・障害のある人たち、高齢者の方々、どのように住みやすいまちづくりの中で、皆で助け合って生きていくかという、そういう横串がやはり一番大事	審議会	1 基本的な考え方
4					外国人や観光客が多く訪れるため、テクノロジーなどを用いて、情報を適正に発信・共有する仕組みをつくるべきである。	・いろいろな情報を、外からの人でも同じように受けられるように、適正な仕組み	審議会	1 基本的な考え方
5					鎌倉は五つの地域に分割され、地域間の格差、住民の意識の格差があるため、どのように格差を平準化しつつ、一方で、その地域の特性を生かしてしながら、全体として事業成果を向上させるか、地域間連携について、今後の方針の検討が必要である。	・事業成果を高めた地域間連携が必要だと思います。都市レベルで鎌倉は五つの地域に分割されている中で、地域間の格差といいますか、また住民の意識の格差は大きいものがありますので、そういう点でそれをどう平準化していくのか、その地域の特性をどう生かしていくのか、そういう問題点と成果、今後の方針というのが一体となってどう組み立てていけるのか、その辺をまた検討していきたい	審議会	1 基本的な考え方
6					共生の考え方を重視すべきである。	・共生の考え方、これは全体の目的に大きく関わりが出てくると思いますので、これは当然入れていかないとけない	審議会	1 基本的な考え方
7					人口減少に応じた行政サービスや施設量の見直しが必要である。	・人、モノ、金、例えば子どもが少なくなっていくということになると、それで影響してくる、例えば教育の問題や学校施設の問題、そのような問題	審議会	1 基本的な考え方
8					SDGsを計画全体の柱に位置づけるべきである。	・労働力の問題も出てきますので、もう一つの視点でありますSDGs、その辺を踏まえて、全体を組み立てていく柱に置かないといけない	審議会	1 基本的な考え方
9					各分野にまたがるような課題をどう入れ込むかによっては構成も変わってくるのではないかと。	・大きな課題、これは鎌倉にもあるわけで、そこから派生する課題は各分野に皆またがってくる部分があるかと思います。ですから、そのような発想で取り組みを組み立てていくと、構成も変わってくるのではないかと	審議会	1 基本的な考え方
10					人口流入を期待するのでは日本全体としては意味がないので、新たな財源の獲得だけでなく、支出の見直しを行い、全体の収支バランスを検討すべきである。	・何かもう少し収入を増やす新しいこと、産業を振興するということは、一つもちろんあると思います。それと一方では、支出を抑えると同時に、どこに重きを置くのかということを考えることが重要です。	審議会	1 基本的な考え方

11						孤立化に対して、相互理解・共生の啓発に基づく地域における関係性の構築によって対処していくべきである。	・孤立、無縁化している社会が一人一人を苦しめているという向きは多々ある ・皆が心地よく手を差し伸べ合える、そういう社会があれば、いろいろな意味で皆がエネルギーを補給して頑張っていけるのではないかと ・人と心地よい関係性、理解や信頼を育める人間力を養うということが皆の意識の中に広がっていかないと、なかなか共生ということも成り立たない	審議会	1	基本的な考え方	
12						行政と地域が一体となって、子どもに対する共生の教育によって成長を支援することが有効である。	・幼い頃の人間関係への教育が、健康な成長につながっていく ・同じ人間として、官民一体となれる体制があると、本当に皆が一つになって、一緒に考えたり協力しあえたりできるのかと思います	審議会	1	基本的な考え方	
13	1	人権を尊重し、人との出会いを大切にす るまち	2	人権	1	人権施策の推進	共生の理念は他委員会・専門家とも調整しながら記載内容を検討していくべきである。	審議会	2	施策の内容	
14		2	歴史を継承し、文化を創造するまち	1	歴史環境	1	歴史的風土の保全	歴史文化保全にはコストがかかっているため、神社・寺との財政面も含めた連携・協力体制が必要である。	審議会	2	施策の内容
15		2	歴史を継承し、文化を創造するまち	1	歴史環境	2	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用	永福寺、北条氏常盤亭跡などを新たな史跡として位置付けて整備してはどうか。	審議会	3	具体的な事業
16		2	歴史を継承し、文化を創造するまち	1	歴史環境	2	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用	鎌倉のオリジナリティーである歴史の継承のためには、子どもたちや若年層に対する学習プログラムと発信が必要ではないか。	審議会	2	施策の内容
17		2	歴史を継承し、文化を創造するまち	1	歴史環境	2	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用	史跡運動公園の整備や、史跡公園に付帯する施設(公衆トイレ)の整備などは、財政負担が非常に大きいため、国と市が連携して、過大な維持・投資ではなく、効果的・実質的な観光文化施策を講じるべきである。	審議会	2	施策の内容
18		2	歴史を継承し、文化を創造するまち	1	歴史環境	2	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用	未利用山林の買取による保存地域の指定拡大は負担が大きいため、地権者の維持管理の責任のもと補助金を支給するなど、発想を変えて欲しい。	審議会	3	具体的な事業

19	2	歴史を継承し、文化を創造するまち	1	歴史環境	2	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用	人口減少により谷戸にも空家が目立ち、樹林管理もできていないため、他地域の負担を軽減するためにも、方策を検討すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林管理ができていない</li> <li>・谷戸の奥まったところにお住まいの方々が、空き家が目立ってきています</li> <li>・鎌倉のこういう状況を、腰越、深沢、大船に肩代わりしてもらような財政規模の拡大、そちらをしていくなら、なおさらこの鎌倉のまちづくりは、考え方を基本的に変えたほうがいい</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
20	2	歴史を継承し、文化を創造するまち	1	歴史環境	2	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用	史跡指定の拡大のために買収したり、代替地を検討することも難しいため、市民のニーズに反しない程度に現状を維持するべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・永福寺の部分とテニスコートについて、テニスコートもあそこは史跡の範囲</li> <li>・昔からテニスをやっている方で、実際にテニスコートを、史跡の指定はされているけれども、強制的に排除するわけにいかないし、話し合いをしていく、その話し合いをしても、ああいうテニスコートをしている人たちは、そこが史跡として買収されると、自分たちがテニスをやる場所がない</li> <li>・代替地を探すとしても、とてもそのような余裕もなく、難しい</li> </ul>	審議会	3	具体的な事業
21	2	歴史を継承し、文化を創造するまち	2	文化	1	文化活動の支援・推進	市民の子どもたちや大学生、若い人々による新たな芸術活動や文化活動の取組支援を強化して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の子どもたちや大学生、若い人々が、新たな芸術活動や文化活動として取り組んでいく、そういったことを推進していきたいと思っているので、この辺りの強化をお願いしたい</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
22	2	歴史を継承し、文化を創造するまち	2	文化	1	文化活動の支援・推進	文化活動に若い人が多く参加できるように周知することが望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代よりも高齢者の方が多かったり、実際に集まる人が少なかったりという、もったいないという現状</li> <li>・その辺りももう少し巻き込む意識というのでしょうか。せっかくいいものをやるのであれば、幅広く人が集まってくるといい</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
23	2	歴史を継承し、文化を創造するまち	2	文化	1	文化活動の支援・推進	若い人を巻き込み、新しいコミュニティをつくる核となるような、別荘・カフェの文化など、現代的・自然発生的な文化も大切にすべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別荘の文化や、あるいは最近であるとカフェの文化、鎌倉はカフェがとても多い</li> <li>・新しいコミュニティをつくるのに核となるような文化もあるので、歴史的な文化も大事ですが、現代に生きる文化のようなものも大事にしたい</li> <li>・自然発生的にできてきた文化もあるわけで、その辺にもう少しスポットを当ててもいい</li> <li>・新しい文化を創造するという意味では、鎌倉発の文化もありますので、その辺も考えたらと思います</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
24	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	1	緑の保全等	保全・活用に携わる市民が多い中で、市民間の連携や、庁内の部署間連携がとれていくことが望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動をやっていらっしゃる方が、保全や活用に相当頑張っている方が多い</li> <li>・連携をうまくすると、大きな力になるのではないかと</li> <li>・課の間の連携のようなもの、見解というか連携というか、それがうまく取れていないのではないかと</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
25	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	1	緑の保全等	保全・活用への多額の経費を削減すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全や活用というのは、言葉としては、必要性はあると思いますが、といてそれに対して多額の費用をつぎ込むことが果たしていいのかわかりません</li> <li>・若干なりとも経費を削減するような方向</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
26	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	1	緑の保全等	風水害対応、日照・景観の確保に向けて、伐採・間伐も含めて、森林資源を適切に管理すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の木は伸びきったので、台風が来ると倒れますので、切ってほしいということが第一</li> <li>・木が伸び過ぎたから、切ってくれば日当たりが良くなる</li> </ul>	審議会	3	具体的な事業

27	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	1	緑の保全等	みどりの保全には市民がボランティアとして参加するなど、受益者の負担がある目標や取組のほうが実効性があるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの保全を維持、管理していくには、私は受益者負担もしてほしい</li> <li>・具体的な取り組みをしていくということをやらない限り、いくら総合計画ができて、実施計画ができて、市民の皆さんは大体目を通しません。裏付けがない目標は大体魅力がありませんから、そういうかたちに変えてもらいたい</li> <li>・一生懸命ボランティアをやってくれますが、大きな狙いは、そういうかたちを骨幹にして取り組む姿勢を明確にしないといけないのではないか</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
28	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	2	都市公園等の整備・管理	未利用地や利用されない公園を別用途でも活用するなどの方策を検討しないと、山林や空間が荒廃してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放置されている公園～まとめて売却して、そこに家を建てて、市はそれで金をもうけて、他のことに金を使ったほうが良い</li> <li>・鎌倉のこの山の緑、特に旧市内などは、これから自然的な原風景に返っていくのではないか</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
29	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	2	都市公園等の整備・管理	老朽化した公園は、子育て支援や新たな活動の場としての活用を再考してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園は使い勝手によっては、いろいろ子育てや子どもの遊び場、そのような活動の場として使えるのではないか</li> <li>・子育て支援や活動支援、活動の場というような視点から、どのようにしていけば使いやすいか</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
30	3	都市環境を保全・創造するまち	3	生活環境	1	3Rの推進・ごみの適正処理	検討中の逗子市・葉山町との広域でのごみ処理は課題があるため、原則市内での処理を目指して施設整備をしてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・われわれが生活している地域のごみは、基本的に自区内で処理するのが原則</li> <li>・大船には10万坪のいい土地があるので、その真ん中に一連の施設をつくってもいいのではないか</li> </ul>	審議会	3	具体的な事業
31	3	都市環境を保全・創造するまち	3	生活環境	1	3Rの推進・ごみの適正処理	広域でのごみ処理での可能性も含めて市の方針を早く決定すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の方針を早めに決めていくというのが必要</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
32	3	都市環境を保全・創造するまち	3	生活環境	1	3Rの推進・ごみの適正処理	廃プラスチック処理への対応について検討すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsのゴールもたくさん関わりがあるので、最近話題になっているプラスチックの問題などを少し盛り込んでいくなどしたほうが良いのではないか</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
33	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	2	子育て	1	すべての子育て家庭への支援	少子化に伴う教育のあり方や教育施設整備等の考え方など含めた『子育てしやすいまち』の広い視点で検討すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが少なくなってきて、そこでどう教育の仕方をしていくのか、教育施設をつくっていくのか、それから遊び場や活動の場、そのような発想を持って、他の分野にまたがるような提案がここに入ってくるという</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
34	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	1	健康福祉	1	地域生活の支援サービス	高齢者に対する地域包括ケアシステムと同様に、あらゆる市民に対する地域全体での福祉支援や共生を視野に入れるべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムというものを国が打ち出したりしています。このような考え方というのは、高齢者に限らず広く取り入れることもできるし、そこで考えている考え方などというのが、全体としてまさに健やかで心豊かに暮らせるまちをつくっていくために、人とのつながりをどうするか、環境をどうつくっていくかという話</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
35	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	1	健康福祉	1	地域生活の支援サービス	国民健康保険の高齢者や所得に応じた負担を見直すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担割合というのは、所得があるから当然その負担割合は多いのですが、その負担割合の上限というのが市のほうで決められるものか、私は分かりませんが、そのような見直しは必要</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
36	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	2	子育て	1	すべての子育て家庭への支援	若年層の人口流入を確保するためにも、子育て環境を整備すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てがよいまちというのは、子どもたちがかなり入ってくる可能性がある</li> <li>・子育ては大事だと思いますので、それをもっと積極的に取り入れていったほうが良い</li> </ul>	審議会	2	施策の内容

37	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	2	子育て	2	子育て支援施設の整備	子育て施設の整備のみならず、鎌倉の自然の中での子育ての魅力を活用すべきである。	・青空自主保育など結構多い ・里山の保全と、そこで先ほどの公園ではありませんが、もう少し自由な場所で子どもを育てたいというお母さんたちが鎌倉に越してくるというケースが結構あります。施設の設備も大事ですが、施設以外のところで、そういう活用ができるのではないかと、そういうポテンシャルがまだ鎌倉にたくさんあるのではないかと	審議会	2	施策の内容
38	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	3	学校教育			教育分野は所管も広範囲に渡るため、独自のアイデアをもつ課が緊密に連携することによって効果的なサービスにつなげるべきである。	・何をやめましょうという話はやはり厳しので、大所高所から見て、課の連携をしっかりとしたいです。先ほどのように課によって言うことが違うということになると、活動がストップしてしまいます。この計画があつて各課に下ろし動き出すというシステム自体に少し無理がきているのかも知れない。 ・それぞれがこれをやりたい、あれをやりたいと動いていくと、皆やはり中途半端なかたちで終わっているような向きもあるので、そこは連携して、鎌倉の健康な健やかな心のために、どれを皆で力を合わせてやるのかということを考え直したい。	審議会	2	施策の内容
39	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	2	子育て	1	すべての子育て家庭への支援	子育て支援の一環に、育児と仕事を両立するための働き方の先進的なモデルの形成があつてよいのではないかと。	・全ての子育て家庭への支援という項目の中に、育児期家族の働き方改革のようなものを入れ込んでいく時代だと思います ・この町で子育てをしながら働けるのだという、例えば短時間労働など、いろいろな新しい育児をする家庭のための働き方モデルとして、どんどん鎌倉がやっていけたら、ここでは働けて子育てでもできるというような新しい提案もどこかに入るといい	審議会	2	施策の内容
40	4	健やかで心豊かに暮らせるまち					生涯学習やスポーツ振興も、市民の参画意識を高めるような連携を検討すべきである。	・生涯学習もいろいろな委員の方や生涯学習課などが力を尽くして、いいものを一生懸命やっているけれども、結局ふたを開けてみたら、あまり人が集まっていないなど、とてももったいないと感じます。スポーツもいろいろな企画をしてくださっていますが、それが多くの市民のためになっているのかというと、やはりもったいない感じがします。その辺りも、皆で力を合わせて、意識を一つにしていくというようなうねりがあれば、一つずつが意義あるものになっていくような気がします	審議会	2	施策の内容
41	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	6	スポーツ・レクリエーション	2	スポーツ施設の整備	市民向けのスポーツ施設、特に運動場・競技場の整備・拡充を図るべきである。	・一般の人たちが楽しむスポーツ、安心して安全に遊べる、スポーツができるという施設が鎌倉はないです。だから、この総合計画には、必ず大きな目玉として挙げてもらいたい ・自前の競技場がないのは、全国でも鎌倉ぐらいのものだろうと思っています。なぜここまで立ち遅れているのかというのが、教育行政というか、それを越えて、市民共通の運動場として整えられないのか、非常に危惧しています	審議会	2	施策の内容
42	4	安全で快適な生活を送れるまち					予算が限られている中でも、生活サービスに支障が出ないよう、インフラ再編・維持を計画的に進めるべきである。	・インフラ関係は～生活に支障の出るようなものであってはならないというのはあると思います。再編計画というものを市はつくっていらっしゃるの、痛みは痛みだということをきちんと示していきながら、これは守っていくというような方向にしないと、下水、道路、到底維持できないと私は思います	審議会	2	施策の内容
43	5	安全で快適な生活を送れるまち					安心して住める環境づくりは、担当所管課が連携するとともに、市民が参画して一体的に進めるべきである。	・私たちが安心して住める環境づくりは、やはり各課でばらばらに動いていると、どれもが中途半端で終わってしまいます。市民一人一人の安心・安全な住環境、生活環境をつくるということは、個別化した課でそれぞれが手を付けていると、なかなか進まない分野ではないかと。やはり連携が必要です。	審議会	2	施策の内容

44	5	安全で快適な生活が送れるまち	1	防災・安全	1	地震対策・風水害対策の充実	崖地の防災工事対象の基準を拡張して、安全な谷戸づくりを目指す必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の防災工事にかかる設置基準の改定を含めて、さらに2、3軒の山の麓に住んでいるところでも対応できるような基準に変更してもらいたい</li> <li>・安全な谷戸づくりを目指すためには取り組む必要がある</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
45	5	安全で快適な生活が送れるまち	1	防災・安全			防災の取組みとして、市内全域を網羅的にインフラのレジリエンス・冗長性を高めるべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災でどうやるかというのは、全体の防災マップを踏まえて、想定外でこれがどうするかというのは、総合計画で一番大事なこと</li> <li>・鎌倉の特性があるというのは、地域的に独立していきます。そういう地形を持つ鎌倉ですから、通常の内容をどうやるか、地域的に腰越はどうなるか、深沢はどうなるか、深沢に関しては柏尾川との絡みでどうなるか、全部トンネルが崩落した場合の緊急体制は、2本の道路でどうやれるか、そういう細かい内容がこれからの総合計画で堂々と載っていかなければならない時代</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
46	6	活力ある暮らしやすいまち					障害者・高齢者のセカンドライフ雇用など、雇用や労働を切り口に活力を検討すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の問題、雇用が入っていると思います。市のほうは、障害者の雇用、2,000人雇用など打ち出していますし、高齢者の雇用、セカンドライフというような考え方もあるので、そのような雇用という切り口だけでなく、もう少し広げて政策に反映できないか、この分野の中で入れられないか</li> </ul>	審議会	2	施策の内容
47	3	都市環境を保全・創造するまち	2	都市景観	1	良好な都市景観形成事業の推進	公共施設は年数回だけ一般公開するのではなく、通年で活用することにより、施設の保全だけでなく、雇用の供給や施設の維持管理費捻出にもつながる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧村上邸、旧華頂宮邸、扇湖山荘などの公共施設を、年に数回の一般公開ではなく、実際に活用していくことが保全にもつながるかと思えます。雇用が生まれたり、施設を維持するための費用を作り出すことができるのではないかと思います。</li> </ul>	メール	2	施策の内容
48	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	2	子育て	1	すべての子育て家庭への支援	保育設備の充実のみならず、保育士の待遇改善が肝要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育設備を充実することも大切ですが、保育士の確保(給料をあげる、保育士自身の育児休業、職場復帰の支援)も大切だと思います。</li> </ul>	メール	2	施策の内容
49	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	2	子育て	1	すべての子育て家庭への支援	テレワークを推進することで、子育てとキャリア両立の実現をめざすべきである。市は助成や税の優遇などのサポート役となり、実際の運営は民間委託とするべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの推進で、都心の企業と鎌倉市内にしながら仕事できる形を作ることができれば、子育てとキャリアの両立へ一歩近くなるのではないかと思います。テレワークできるシェアオフィスやコワーキングスペースの運営は市が行うのではなく、民間運営にし、運営の助成や税の優遇をするなどのサポートをし、推進していくのはどうでしょうか。</li> </ul>	メール	2	施策の内容
50	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	5	生涯学習	2	学習環境の整備・充実	生涯学習センターの運営を民間委託し、幅広い世代に受け入れられる施設を目指した方が良い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉市の生涯学習センターなどは、高齢者の利用率が高い印象があるのですが、大和市の「大和市文化創造拠点シリウス」は、高齢者から子供連れまで幅広い世代の方が利用していました。図書館の運営や施設内のカフェなど、民間委託されているようで、「行政施設」というより「ショッピングモール」に来たような感覚でした。</li> </ul>	メール	2	施策の内容
51	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	6	スポーツ・レクリエーション	1	市民スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ振興の目的を示して市民理解を得ることが重要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ実施率の向上をなぜ市の施策とするのか(例)未病のため、健康保険料の支出を抑えるため など</li> </ul>	メール	2	施策の内容
52	4	健やかで心豊かに暮らせるまち	6	スポーツ・レクリエーション	1	市民スポーツ・レクリエーションの推進	抽象的な施策に関しては、市民ニーズを把握して目的を提示し、理解を得ることに努めるべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的が提示されていないと、市民調査で「重要ではない」施策トップ3に入っているのに、何故実施する必要があるのか市民に伝わらないと思います。同じことが1ページ目の「平和を希求するまちをめざします」の項目にも言えるかと思えます。</li> </ul>	メール	2	施策の内容

53						市役所内の各部課・委員会組織の共創が重要であり、さらに官民一体の共創を実現させるためには各々の理解と歩み寄り、自由な視点や柔軟性が求められるのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所内の各部課・委員会組織の共創が重要だと考えます。</li> <li>・官民一体となる共創のためには、それぞれの理解と歩み寄りが必要です。官公庁も前例踏襲でなく、自由で開かれた視点や柔軟性が求められる。</li> <li>・教育委員会の文化財部が、鎌倉市内を博物館とみなす「博物館基本構想」を掲げています。例えばこれも、文化財部の委員会だけが検討するのではなく、都市環境・ゴミ問題・みどり保全・まちづくりなどを含め、下記の項目の推進につながる大きな仕事として、総力を結集してヒト・モノ・カネを傾けることで、大きな成果と未来につながるかもしれません。</li> <li>・一つの部課や委員会の独り相撲のように中途半端に終わらせないで欲しい構想です。</li> </ul>	メール	1	基本的な考え方	
54		4	健やかで心豊かに暮らせるまち			一時的な支援・保護・援助ではなく、人間力の教育に注力し、市民へ周知徹底していくことが重要ではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を通じての教育的視点に基づいて、根本的な教育のために、何に注力するのかを検討し、包括し、結果につながる大きな仕事にヒトやお金をかける必要があります。</li> <li>・生涯を通じての人間力の教育が必要です。一時的な支援・保護・金銭を与える対処療法では、何の解決にも繋がりません。</li> <li>・自他尊重・心身の健康・安心安全・活力は、人がつながることで達成できます。孤立化の進む街にならぬよう、人間力と自律性を育む教育がどの世代にも行きわたることが重要だと考えます。全市民への周知徹底に力を注ぎたいです。</li> </ul>	メール	1	基本的な考え方	
55		4	健やかで心豊かに暮らせるまち			民間と協働し、誰もが集い、学びやカウンセリングを享受可能な公共教育施設や多数の機能を有する複合施設を創るべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「鎌倉みんなの学校」の中核施設ができて、学びやカウンセリングがいつでも誰でも受けられる集いと憩いの公共教育施設が便利な場所にある。ひだまり・子どもの居場所・放課後教室・図書館・就労支援教育・相談など、あらゆる教育が集約される施設を創る。民間との大きな協力が必要です。</li> </ul>	メール	2	施策の内容	
56		4	健やかで心豊かに暮らせるまち	2	子育て	1	すべての子育て家庭への支援 初期の子育て支援の活動に、総力を結集して取り組み、継続した親業教育や活動を企画実施するべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期の子育て支援の活動に、総力を結集して取り組む。成果につなげる集約し継続した親業教育や活動を企画実施する。（ベビーマッサージ・赤ちゃんとおはなし会・ブックスタートなど）</li> </ul>	メール	2	施策の内容
57		7	計画推進に向けた考え方	1	市民自治		「挨拶運動」「笑顔運動」をはじめ、市民を巻き込み活性化させるイベントを企画し、広報を通じて周知、推進を図るべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶運動」「笑顔運動」を総力を結集して本気で様々な取り組みやイベント企画や広報で市内に広げ推進する。広く市民を巻き込み活性化させるイベント企画も良い。</li> </ul>	メール	1	基本的な考え方
58						次期基本計画では、個別の目標達成に尽力するのではなく、横断的に取り組むことによって、複数の目標の同時達成を目指す工夫が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現基本計画とその実施においては、それぞれ個別に目標達成に向けて尽力している印象を受ける。次期基本計画では、個別分野を修正するというよりも、いかに複数の分野をつなげて、複数の目標を同時達成していくかという点で工夫が必要となるだろう。</li> </ul>	メール	1	基本的な考え方	
59						短期的な展望だけに捉われず長期的な展望を持つことが必要であり、かつ過去想定されていなかった状況への対応は必須となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に短期的な展望だけしか検討されていない印象。計画としてはより長期的な展望を持って、それに向けて一歩でも近づけていくという発想もあり得るだろう。第3次総合計画を建てた時代には想定されていなかった状況が現在では多々起きているとも言え、そのような過去想定されていなかったことには対応すべきである。スマホなどの情報技術、日本語以外の言語対応、電気自動車や自動運転といった新たな交通手段、等。</li> </ul>	メール	1	基本的な考え方	

60						市の人口を無理して社会増で増やすようなことは目指さず、中位程度を想定したらよい	・無理して市民の数を増やすことが鎌倉市にとって必ずしも良いことではないと考えている。市の人口を無理して社会増で増やすようなことは目指さず、中位程度を想定したらよいと思う。	メール	1	基本的な考え方
61	5	安全で快適な生活が送れるまち	1	防災・安全	1	地震対策・風水害対策の充実	防災リスクを考慮し平地の空き家対策を優先的に進めるべきである。	メール	2	施策の内容
62	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営			市内の産業(商業、観光業含め)を育成することで、観光客の増加や消費の拡大による市民所得増をめざすべきである。	メール	1	基本的な考え方
63	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営			廃棄物処理やスポーツ関連施設、災害時の対応等のすべてを鎌倉市だけで完結しようとするのではなく、地域間連携による効率化をめざすべきである。	メール	1	基本的な考え方
64	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	1	緑の保全等	みどりの保全は単に景観上好ましいということではなく、他分野とのつながりが強調されるべき分野である。	メール	2	施策の内容
65	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	2	都市公園等の整備・管理	緑地がそのまま遊び場になるような公園のデザイン(ハード)と使い方(ソフト)とあわせて検討してはどうか。	メール	2	施策の内容
66	3	都市環境を保全・創造するまち					廃棄物、エネルギー、生態系はそれぞれ別の分野として立っていて良いのではないかな。	メール	1	基本的な考え方
67	3	都市環境を保全・創造するまち	3	生活環境	4	次代に向けたエネルギー環境対策の推進	市の公用車に電気自動車を用い、バッテリーを充電設備として用いるなど電力の有効利用の選択肢を示せたらよいのではないかな。	メール	2	施策の内容
68	3	都市環境を保全・創造するまち	3	生活環境	4	次代に向けたエネルギー環境対策の推進	平成30年12月に施行された。気候変動適応法にふれた方がよいのではないかな。	メール	2	施策の内容
69	6	活力ある暮らしやすいまち	1	産業振興	1	農業・漁業の振興	都市農業よりブランド化(鎌倉野菜)に特化した方がよいのではないかな。	メール	2	施策の内容
70	6	活力ある暮らしやすいまち	1	産業振興			新規産業育成、企業支援、誘致に注力するとともに、サービス提供型産業にも積極的に声をかけてはどうか。	メール	2	施策の内容

71	6	活力ある暮らしやすいまち	1	産業振興		「モノ消費からコト消費へ」を念頭に検討すべきであり、体験型のイベントを増やすといった具体策を掲げたり、雇用支援と抱きあわせて検討すべきだ。	・観光客により多くのお金を落としてもらうための方策。こちらも「モノ消費からコト消費へ」を念頭に検討。体験型のイベントを増やす等。その意味でp.92「観光振興のための収入確保等」はより具体的な記述があってよい。次の分野（雇用支援）とセットで考えるべき。	メール	2	施策の内容	
72						企画は市民に任せて、市は活動資金や場所の提供に徹してはどうか。	・施策は行政主導でなくてよいのではないのでしょうか？むしろ企画は市民に任せて、活動資金や場所の提供に徹してみたいかがでしょうか。指標としては市が後援した催しの参加人数はカウントする。	メール	1	基本的な考え方	
73	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		近隣都市と利用提携を結んだり、公共施設の再編や施設の多機能化を進めたりすることで、人的コスト、維持管理コストの圧縮を図るべきではないか。	・施設と機能が1対1ではなくて施設の多機能化で人的コスト、維持管理コストを圧縮する。例えば市民活動センターと生涯学習センターと福祉センターの一部を合体するとか、学校と学童保育と生涯学習センターと図書館の機能を一体化するとか、かなり思い切った公共施設の再編を検討しては？ ・元々平地の少ない鎌倉で無理してトラックを作らなくても近隣都市と利用提携を結ぶとか、いっそのこと鎌倉の特性を活かして、海や山に関係するスポーツの振興に注力するなど発想を転換してはどうか。	メール	1	基本的な考え方	
74	3	都市環境を保全・創造するまち	1	みどり	1	緑の保全等	緑地の保全は、公有化せずともメンテナンス契約と交換に借地権のようなものを獲得し、メンテナンスは市民のボランティア活動に任せるとよいのではないか。	・緑地の保全は公有化しなければできないものではないのでは。所有者とメンテナンス契約と交換に借地権のようなものを獲得し、メンテナンスは市民のボランティア活動に任せる（すでに緑地保全をおこなっている団体の活動を市が保障する。）。	メール	2	施策の内容
75	7	計画推進に向けた考え方	1	市民自治		共創の視点にたち、市民参加を促すために裁判員制度のような無作為指名のようなことはできないだろうか。	・共創の視点でいかに市民を巻き込むか、情報の開示と丁寧な説明が当たり前ですが大事です。市民参加を促すという意味で裁判員制度のような無作為指名のようなことができないでしょうか？	メール	1	基本的な考え方	
76	6	活力ある暮らしやすいまち	1	産業振興	1	農業・漁業の振興	地域で生産・供給する「地消地産」を目指すために、地産品にインセンティブを付加したり、地域通貨のような仕組みを取り入れたりしてはどうか。	・「地産地消」ではなく「地消地産」では？現状地域で消費している（外にお金が行っている）ものを地域で生産・供給すればいいという理屈です。地産品にインセンティブを付加してもよいし、地域通貨のような仕組みも取り入れてみてはどうか。	メール	2	施策の内容
77	6	活力ある暮らしやすいまち	2	観光	1	観光都市としての質の向上	湘南地域あるいは三浦半島をひとつのエリアとして滞在型の観光プランが提案できるのではないか。	・都市連携ということでは、例えば観光にしても湘南地域あるいは三浦半島をひとつのエリアとして滞在型の観光プランが提案できるのでは。	メール	2	施策の内容
78	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		テクノロジーは活用すべきだが、同時にIT弱者への一定の配慮は必要である。	・テクノロジーは天いに活用すべきだと思います。が、一方でIT弱者も少なからずいるわけで、移行期と考えて一定の配慮は必要でしょう。	メール	1	基本的な考え方	
79	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		複数の課を横断する事業プロジェクトが行いやすい予算の立て方や人的配置についての新しい工夫が欲しい。	・原課が決まらなると市民からの事業提案自体が流れてしまうような傾向にあります。複数の課を横断する事業プロジェクトが行いやすいような予算の立て方や人の配置についても慣習にとらわれない工夫が欲しい。	メール	1	基本的な考え方	
80	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		インフラの維持管理などでは安易な民営化は避けるべきである。	・インフラの維持管理などでは安易な民営化は避けるべきだと思います。	メール	1	基本的な考え方	
81	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		日常生活とのつながりの中でSDGsを受け入れていけるように誘導した方がよいのではないか。	・SDGsの考え方がまだ市民に浸透していない段階でありそこを強調するのは注意を要すると思います。あくまで日常生活とのつながりの中でSDGsを受け入れていけるように誘導した方がよいと思います。	メール	1	基本的な考え方	

82						計画のフレーム策定には慎重に取り組むとともに、計画期間中の事業量については実現可能なものとし、固定経費の圧縮に努めてほしい。	・計画のフレームについては慎重に決めていただきたいと思います。計画期間中の事業量についても実現可能なものとともに固定経費の圧縮に努めていただくようお願いいたします。 ・公共といえども経営なので一般市としてできる範囲をしっかりと意識して具体化できるものを明確にして計画で約束してほしい。	メール	1	基本的な考え方	
83	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		増収増益を図る取り組みとして、物産拠点の整備など将来のための健全な投資事業にも取り組んでほしい。	・年間2000万人を超える観光客数は市の経営上の強みですので、これを活かした増収増益を図る取り組みとして、物産拠点の整備など将来のための健全な投資事業にも取り組んでいただきたい。	メール	1	基本的な考え方	
84						平和、人権、SDG's等が各施策にどう連携するかということは、重要な論点とは思わない。	・平和、人権、あるいはSDG'sなどが各施策にどう連携するかはあまり重要な論点とは思わない。	メール	1	基本的な考え方	
85	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		公共施設等総合管理計画を確実に推進して欲しい	・公共施設等総合管理計画を確実に推進して欲しい	メール	1	基本的な考え方	
86	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		費用捻出のために廃止または縮小する事業を決める一方で、学校や道路など更新整備に必要な財源は最優先で確保すべきである。	・多額の費用がかかるのは明白であり、かつ優先順位は高いので、費用捻出のために廃止または縮小する事業を決めるべきだ。 ・学校や道路など更新整備に必要な財源は最優先で確保すべきである。	メール	1	基本的な考え方	
87						対応しようとする課題が多すぎないか。	・対応しようとする課題が多すぎないか。市長において予め枠組みを決めるのが当然だと思う。捨てた課題、施策、事業に関しては不満が集まるのは覚悟してほしい。	メール	1	基本的な考え方	
88	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		市民税を上げるためにはどのような層の誘致をするべきか、市内経済を大きくして増収を増やすという王道を歩んでほしい。	・市内経済を大きくして増収を増やすという王道を歩んでほしい。個人市民税を上げるためにはどのような層の誘致をするべきか、鎌倉市民が担税力を増していっていった背景はどうかを市史を振り返るべき。	メール	1	基本的な考え方	
89	6	活力ある暮らしやすいまち	1	産業振興	2	商工業振興の充実	販売拠点を整備することは経営基盤の弱い市内商業者にとって有効な施策であり、この分野の施策・事業の立案にあたっては、市内に本店機能を持つ事業所を対象としてほしい。	・観光消費額を増加させることにより増収につなげる可能性を有している。経営基盤の弱い市内商業者が販売額を伸ばすことを支援する販売拠点を整備することは有効な施策であり、そこに税を投入することは将来的に増収を増加させるための健全な投資と捉えてほしい。 ・この分野の施策・事業の立案にあたっては、増収増の観点から、市内に本店機能を持つ事業所を対象とするように心がけてほしい。	メール	2	施策の内容
90	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		政策間連携や地域間連携は目的とするのではなく、効果的な施策の推進方策として検討して欲しい	・政策間連携や地域間連携は目的とするのではなく、効果的な施策の推進方策として検討して欲しい	メール	1	基本的な考え方	
91	7	計画推進に向けた考え方	2	行財政運営		テクノロジーの活用自体を目標にすべきではない。	・テクノロジーの活用自体を目標にしないほしい。施策・事業が粗上上がった時点で執行上役に立つかどうかという視点で議論したい。	メール	1	基本的な考え方	
92						現計画の達成状況を見極め、廃止する施策・事業の案は市の責任において予め委員に示すとともに、計画内容は実現可能なものにするべきである。	・計画期間内に到達可能な財政的な枠組みをしめし、現計画の達成状況をしっかりと見極めて廃止する施策・事業の案は市の責任において予め委員に示してほしい。 ・事業の選択と集中については言うべくして難しい課題ではあるが、計画の重要な柱として位置付けるとともに、計画内容も実現可能なものにするべきである。	メール	1	基本的な考え方	

93						<p>選択と集中の観点から、充実する施策・事業は厳選する方向で考え、市民参画の名のもとに安易に市民の負担を期待することは慎んでほしい。</p>	<p>・計画期間中に取り組む施策・事業のレベルについては市の体力に応じたものにするべきである。サービスレベルに関しては、選択と集中の観点から、充実する施策・事業は厳選する方向で考えたい。市民参画の名のもとに安易に市民の負担を期待することは慎んでほしい。</p>	メール	1	基本的な考え方
----	--	--	--	--	--	---	--	-----	---	---------